

ホスピタリティ

WE Hotel Toya

Pleated fabrics and local timber create an air of comfort and warmth.



Starting Point

洞爺湖のほとりにかつてあった高齢者施設が、建築家 隈研吾氏の手によってブティックホテルへと生まれ変わりました。外観と内装に地元産の杉の木を使用したことで、このホテルの宿泊客は、杉林のような快適で暖かい客室を満喫することができます。

Solution

ホテルの内部に目を向けると、建築家はとても印象的であると同時に調和の取れた客室を数多く作り上げています。バーとレストランにプリーツ状にしたファブリックをふんだんに使用することで、素晴らしい湖の景色が目の前に広がる洞窟のような雰囲気になりました。

隈研吾建築設計事務所 WE hotel Toya

ドレープカーテン

Object

We Hotel TOYA, 北海道、洞爺湖町/日本

Concept

隈研吾建築都市設計事務所、東京、日本

Photos

Kawasumi Kobayashi Kenji Photograph Office,
Japan



商品



PONTE IV

Art.-No: 0005510

商品カテゴリー: ドレープ

色数: 50

組成: 100% 難燃ポリエステル (Trevira cs)

生地幅: 160 cm

重さ: 242 g/m²

吸音: α_w 0.50

耐光堅牢度: 6